

議会だより かどがわ

January
2022

1

No.169

謹 賀 新 年

- ・ 一般会計補正予算2P
- ・ こんなことが決まりました3P
- ・ 一般質問5人が登壇6P

上納屋海岸から

可決
全員賛成

一般会計補正予算(第9号)(第10号)

『5億6099万円』を追加
内コロナ対策に2億2894万7000円

総額 96億1137万7000円

こんなことが決まりました

同意案件

教育委員会教育長の任命同意

現在、教育長の新原とも子氏が、令和4年1月3日をもって任期満了となることから、引き続き教育長として任命するにあたり、議会の同意を求めるもの。
(同意・全員賛成)

条例制定

職員の修学部分休業に関する条例

職員が大学等の教育施設に修学する場合、必要と認められる期間について、勤務時間の一部について勤務しないことを承認することができるよう条件等を定めるもの。
(可決・全員賛成)

職員の高齢者部分休業に関する条例

高年齢の職員が申請した場合において、公務の運営に支障がないと認められるときは、勤務時間の一部について勤務しないことを承認することができるよう条件等を定めるもの。
(可決・全員賛成)

その他の事業(主なもの)

- ・ふるさと納税事業 1523万9千円
- ・財産管理事業 8476万1千円
(ふるさと振興基金への積み立て)
- ・障がい者福祉事業 4770万円
- ・児童措置事業 254万4千円
(働きやすい保育所等づくり緊急応援補助等)
- ・産地生産基盤パワーアップ事業補助金 1億1025万円
- ・共同調理場運営事業 4623万5千円



▲産地生産基盤パワーアップ事業(同型ハウスの建設)

特別会計補正予算 全員賛成 可決

- 国民健康保険事業 1億5070万円
- 後期高齢者医療 20万3千円
- 介護保険事業 1765万9千円

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス対策事業 6861万2千円

ワクチン3回目のブースター接種

雇用維持緊急支援事業 30万円

雇用調整助成金等の申請補助

第10号補正

子育て世帯臨時特例給付金給付事業 1億6003万5千円

所得の額が一定額以上の世帯を除き18歳以下の子供たちに5万円を給付

※12月議会後の専決処分により10万円を給付することになりました。

【質疑応答】

問 給付の日程は
答 児童手当の受給者は12月末までに給付
高校生のみ、新生児の保護者、公務員(児童手当(本則給付)を受給)は令和4年1月末見込み

職員の配偶者同行休業に関する条例

職員が申請した場合において、公務の運営に支障がないと認められるときは、職員が外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にする場合に、配偶者同行休業することを承認することができるよう条件等を定めるもの。
(可決・全員賛成)

条例改正

門川町の非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正

各選挙執行の際の、投票所の投票管理者、期日前投票所の投票管理者、投票所の投票立会人、期日前投票所の投票立会人の報酬について、「途中で交代した場合は、事務に従事した時間であん分した額」のただし書きを追加するもの。
(可決・全員賛成)

門川町国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の「産科医療補償制度の掛金分」は令和4年1月1日より1万6千円から1万2千円に引き下げられる。

少子化対策としての重要性に鑑み、出産育児一時金の支給総額を42万円に維持することになったため、「本来分」を40万4千円から40万8千円に引き上げるもの。
(可決・全員賛成)

道路占用料徴収条例の一部改正

門川町の道路占用料を県の区分にあわせて改正し、条文についても県にあわせて改正を行うもの。
(可決・全員賛成)

門川町法定外公共物管理条例の一部改正

法定外公共物についても、道路占用料徴収条例に準じた金額とするため改正を行うもの。
(可決・全員賛成)

門川町都市公園条例の一部改正

都市公園の占用料についても、道路占用料徴収条例に準じた金額とするため改正を行うもの。
(可決・全員賛成)

契約案件

令和3～4年度門川町学校給食

センター厨房機器等備品購入費売買契約

備品購入にあたっては、令和2年2月に公募型プロポーザル方式により業者の選定を行い、株式会社中西製作所に決定。
(可決・全員賛成)

全員協議会

心の杜経営改善委員会について
昨年、総務財政厚生常任委員会において、心の杜の経営について調査を行い、町に対して「経営改善委員会」を立ち上げ、経営改善に取り組むよう要望を行った。
今回、経営改善委員会の委員として議員の招請を受けたが、議員による全員協議会で協議した結果、「所管の委員会で調査中の案件であり、議員が参加すべきでない」との意見が多数を占め、参加しないことを決定。

総務財政厚生常任委員会において、経営改善委員会の審議状況を見守っていくこととした。

常任委員会・特別委員会報告書

陳情第2号 門川町議会議員定数削減並びに 町長・町議会議員の同時選挙実施調査特別委員会報告

採決結果

- ・門川町議会議員定数削減……賛成少数で不採択(賛成3人 反対10人)
- ・町長・町議会議員の同時選挙……賛成少数で不採択(賛成1人 反対12人)

経緯

令和3年2月25日に門川町地区会長・自治公民館連合会会長以下8人の理事より、議員定数の14人から12人への削減並びに、町長・町議会議員の同時選挙(町議選の10カ月前倒し)の実施調査特別委員会(仮称)の設置についての要望書が議長あてに提出されました。これを受け令和3年第2回定例会で、議長を除く13人の議員で構成する本特別委員会を設置し、令和3年陳情第2号を付託し、審査することに決定しました。

本特別委員会を設置後、全国の人口15,000人以上20,000人未満の町議会112か所の議員定数を調査しました。議員定数の平均は13.96人で、議員一人当たりの人口は112町平均で1,224人、門川町は1,275人でした。議員定数は人口を参考にして自治体が多いようですが、北海道など面積が広い自治体は議員定数が多いように感じられました。また、宮崎県内の市町村長選挙と市町村議会議員の同時選挙を行っているのは、26市町村のうち5市町村であり19.2%の割合でした。

また、要望書を出された同連合会の理事との意見交換会を実施しましたが、「議員活動が見えない。14人は多すぎるからあまり動かないのでは」、「議員報酬が少ない。だから若い人が議員になろうと思わない」、「地域のことを理解している区長ともっと対話が必要ではないか」との厳しい意見がありました。一方で「現在の議員定数14人は突出して多いわけでもない。常識的なラインでは」、「同時選挙を行うには議会を解散しなければならない。新人議員は大変だと思う」というような意見も頂きました。

11月12日に特別委員会を開催し、各種資料や同連合会理事との意見交換会の議事録を確認し、全委員での討議を行いました。討議では「議員定数14人は最低の線、確保する必要がある。削減は人口が更に減少した時に検討しては」、「議員活動が見えないと言われた。まず活動をどうするか考えるべき」「同時選挙については、町長選の再選挙の可能性等を考えると議会が解散する意味があるのか」、「定数削減は予算だけの問題ではない。町民代表を減らすことになる」との意見が出ました。

陳情第1号

総務財政厚生常任委員会報告

1. 陳情内容

門川町議会において県内医師不足解消に関する議論の場を設けるよう求める陳情書

- ① 県内の医師不足解消に向けて
- ② 門川町出身の医学生の拡大について

2. 陳情の発端となった事項や国、県の医療関係の取り組みについて、調査・研究を行いました。

3. 調査結果

- ・日向病院、脳神経外科再開の見通しは立っていない
- ・宮崎県医療計画に従って、医療機関は運営されている
- ・国、県において医師不足解消について、取り組みが行われている
- ・県内医師不足の解消は本町議会だけで検討することは困難である

4. 審査の結果

調査の結果を受けて、**本委員会**において最終審査を行いました。

門川町出身の医学生の拡大については、本委員会で議論すべき余地があるとの意見が多数を占め、「**一部採択**」と決定しました。

本会議でも委員会審査結果どおり、決定しました。

陳情第3号

産業建設文教常任委員会報告

令和3年5月20日に門川および庵川漁業協同組合代表理事組合長の連名により、提出された「新型コロナウイルス対策支援要望書」について、審査を行いました。

要望の趣旨は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、飲食店等の営業自粛、魚の消費の減少、魚価の下落等に伴い漁業者の操業・生活が厳しい現状にあるので、門川町の支援、対策等の実施を求めるもの。

要望書が提出されて以降、本町では専決処分を含む複数回の補正予算にて、門川町内事業者緊急支援事業などを実施して対応しています。このような状況を踏まえ審査の過程で、

- ・現在、コロナウイルス対策については、かなり支援が行き届いているのでは。
- ・魚価が下がっているのは明らか。引き続き支援は必要。
- ・漁業者の苦境は十分理解できるものの、漁業者に限定して支援事業を実施することは、財源等の確保また他の職種との公平性の問題もある。

などの意見が出されました。

今後も魚食普及等の施策を継続して、魚価安定に資するため要請を続けていくことになり、採決の結果、趣旨採択とすることに決定しました。

この委員会報告を受け、その後の本会議での採決の結果、陳情第3号は賛成多数で趣旨採択と決定しました。



やまおか せつお
山岡 節夫 議員

経済効果が伴う観光振興策に転換を

町長 観光振興策は滞在型観光に取り組む

町長 乙島は町外からの観光客が見込める施設として整備・改修を進めている。今後は体験型イベントを通じ、滞在型観光に取り組む。心の杜を含めた遠見半島の観光振興は情報発信を積極的に行い、交流人口の増加や地域活性化に努める。海浜公園はスポーツ施設の整備充実にも努め、スポーツ合宿誘致や各種大会の開催を通じ、町外の利用者増加に努めていく。



国道から(右が乙島、左が海浜公園)

町長 乙島は町外からの観光客が見込める施設として整備・改修を進めている。今後は体験型イベントを通じ、滞在型観光に取り組む。心の杜を含めた遠見半島の観光振興は情報発信を積極的に行い、交流人口の増加や地域活性化に努める。海浜公園はスポーツ施設の整備充実にも努め、スポーツ合宿誘致や各種大会の開催を通じ、町外の利用者増加に努めていく。

町長 公共施設は利益を求めて建設したのではない。関係市町村とも連携して、本町のPRに努め観光客増に取り組む。

町長 乙島は利便性も悪く集客は期待できない。今後の訪問客見込みと経済効果は。

まちづくり推進課長 乙島観光事業は単体での黒字は見込めないが、滞在型メニューを整備して、経済への還元ができるように配慮していく。

町長 心の杜多目的広場海浜公園は多くの町民が訪れ、楽しんでいる。海浜公園は観光施設としての投資の考えはない。

町長 海浜公園は多くの町民が訪れ、楽しんでいる。海浜公園は観光施設としての投資の考えはない。

町長 海浜公園の遊具は現在撤去されている。町民から早く整備して欲しいとの声を聞くが、進捗状況は。



遊具設置予定場所

教育課長 安全を考慮した遊具施設を管理棟と多目的広場の間に設置を予定している。

町長 町民スポーツ大会に向けた整備計画は。

教育課長 野球場、多目的広場プール等、整備の予定。

町長 役場業務効率化の取り組みは各自自治体のシステムが独自のため、運用管理や法改正への改修など負担が大きくなっている。これを改善すべく、国の計画に沿ったシステム移行を他の自治体とともに取り組んでいる。

町長 町長 行政サービスのオンライン化は町民の利便性とニーズに合ったサービスを提供できるように取り組む。

町長 町長 行政サービスのオンライン化は町民の利便性とニーズに合ったサービスを提供できるように取り組む。

町長 町長 来年度の開催に向け、生涯学習講座の一つとして開催する準備を進めている。

うつのみや みつよし
宇都宮 三良 議員

補助金を毎年見直すべきでは

町長 慎重に検討・判断する

町長 スポーツ少年団に町の力を。町で照明やグラウンド等の設備環境・遠征費用や大会にかかる費用を支援することによって保護者の負担が軽減され、スポーツに励む子供たちが増えるのではないかと。

町長

町長 照明の設置により夜間の活動も可能となるが、適切な利用がなされない場合、子供たちや、周辺住民への悪影響も考えられる。また、照明の利用に対する費用負担などの問題もあるため、町としての整備については、周辺自治体の状況なども調査、研究し、慎重に検討・判断する必要があると考えている。

町長 本町には「各種スポーツ大会出場補助金」という制度があり、九州大会以上の規模の大会に出場し代表権を得た場合や、指定や推薦を受け県代表として出

町長 町長 場する場合に対して補助金を交付しており、本町で開催される大会に対しても補助を行っている。

町長 子供たちがスポーツに親しみ、体力や運動能力を高めることにつながるため、スポーツ少年団活動のより一層の活性化の支援に努めていきたい。

町長 町長 県大会や協会主催の大きい大会などは検討も必要であるが、保護者の協力を得ながら、近隣市町村の動向を参考にして調査・研究していく。

町長 町長 町機材整備などの補助金は。

町長 町長 スポーツ少年団補助金をだしている。近隣市町村と補助額を比較し、調査・研究する。



町長 町長 町子供たちの通学路について。

町長 町長 ガードレールが必要
・歩道橋の老朽化
・カーブミラーが必要
・縁石がない
・道路と歩道の境目がな
い
などの声を聞くが通学路の環境整備について伺いたい。



▲図書館前の歩道橋

町長 町長 「門川町通学路交通安全プログラム」を策定し、町内小中学校へ危険箇所の調査を行い、巻き込み事故防止のラバーポール設置、区画線の引き直しなどを行った。

町長

町長 町長 令和3年1月に13箇所、9月に17箇所点検を実施し、対策としてラバーポールの設置、外側線の引き直し、グリーンベルトの設置、河川への転落防止のガードレール設置を実施予定している。各学校と情報を共有し、年次的に通学路の環境整備に努めていく。



でぐち まれとし
出口 希俊 議員

消防バイク隊の必要性は

町長 災害状況の確認や情報収集など

消防バイク隊の必要性は、
町長 災害時における町内
各地域の災害状況の確認
や、情報収集、伝達
捜索活動ができるので、
バイク隊の必要性につ
いては十分認識してい
る。

町長 基本団員と機能別消
防団の指揮系統を別に
してしまうと、現場の
状況把握ができなくな
り、団員の安全確保が
難しくなる。



▲消防バイク隊のバイク

地元建設業者に在来
工法で入札した方が、
いいのでは。

町長 この備蓄倉庫は、す
べての構造材にアルミ
を使用しており、耐候
性があり、腐食がしに
くく、長期的に使える
備蓄倉庫である。

財源も緊急減災・防
災事業債を活用して、
後年度7割の地方交付
税措置があり、実質の
町負担は、1基あたり
約90万円程度。



▲防災倉庫

町長 関西門川から小園町
河川敷砂利改修工事が
県発注で長期間計画さ
れているが、各区長さ
んには安全対策も含め、
きちんと町から説明は
しているのか。

町長 建設課長
現在、残土処理は72
%終わっている。地元
からの要望として、県
につなぎ、交通安全
道路の維持管理など、
県と協議していきたい。



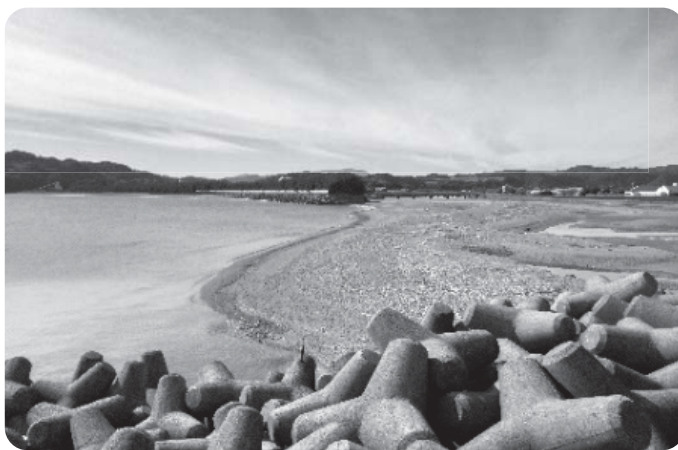
▲中山の広域農道の交差点



五十鈴川河口の土砂堆積

いわさ ゆういち
岩佐 祐一 議員

町長 治水上支障となる状況ではないが注視



▲五十鈴川河口



▲鳴子川河口

河口対策

町長 地形変化の状況を把
握し、出水期前の今年
5月に県に報告。
県は、ドローンによ
る調査、測量を実施。
結果、現時点において
は、治水上支障となる
状況ではないとのこと

町長 閩鳴子川河口付近の
年々増加している土砂
堆積とその及ぼす悪影
響と今後の対応は。
町長 県によると、過去の
写真や測量結果で確認

だった。しかしながら
県としては砂州の変化
に注視していくとのこ
とである。
町としても県と情報
共有を図って対応して
いく。

したが、年々増加して
いる状況にはなく、現
時点において治水上支
障となる状況にはない
とのことだった。
しかしながら波浪や
洪水等の影響を鑑み変
化に注視していくとの
こと。
町としても県と連携
し、河川巡視等を行い、
対応が必要であれば県
と協議していく。

ふるさと納税

町長 閩過去5年間の推移と
その活用方法は。

町長 平成28年度1281
万円、29年度1082
万円、30年度2004
万円、令和元年度51
63万円、2年度1億
9606万円、今年度
は4億円の予測。
活用方法は福祉・子
育て教育・環境保全・

町長お任せの4つのメ
ニューの事業に充当し
ている。

町長 新規事業者の開拓や、
既登録事業者の新商品
や定期便等の提案を行
い拡大を図っていく。
現在51事業者で46
9品となっている。

町長 閩納税を増やしていく
ための対策は。

町長 門川町のことや、商
品をよく知ってもらう
ために、効果的な広告
等の展開やSNS等を
活用した情報発信を行
う。また、リピーター
増加のため、商品のブ
ラッシュアップや町に
親しみを持ってもらう
仕組み作りを行っている。



返礼品の一部

第4回定例会表決表

○：賛成、●：反対、－：議長

議案 (全員賛成の議案は除きます。)	広瀬	宇都宮	出口	山岡	中城	森川	菊地	森	請関	水永	内山田	安田	岩佐	神崎
	拓也	三良	希俊	節夫	資力	春夫	稿治	誠一	義人	正継	善信	茂明	祐一	千香子
陳情第1号 医師不足解消に関する委員会 報告の一部採択に対する採決 ※P4参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－
陳情第2号 議員定数削減 ※P5参照	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	●	●	－
陳情第2号 町長・町議会議員の同時選挙 ※P5参照	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	－
陳情第3号 新型コロナウイルス対策支援に関する委員会報告の趣旨採択に対する採決 ※P4参照	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

次回令和4年3月定例会の予定 *日程は変更になる場合があります

3月 2日～ 3月18日	2日(水)	(開会) 議案の上程	左記の日程で開催を予定しております。日程は変更になる場合がございますので日にちが近くなりましたら、町のホームページや回覧板でご確認ください。 本会議における傍聴について、新型コロナウイルス対策が講じられている場合には、積極的な案内はいたしませんのでご理解ください。
	3日(木)	一般質問	
	4日(金)	一般質問	
	18日(金)	議会の採決(閉会)	



明けまして
 おめでとうございます。
 本年もよろしく
 お願いいたします。

門川小学校運動場周りの 生垣等の整備を

みずなが 水永
 まさつぐ 正継 議員



町長 学校と地域との対話を通して進めたい

町長
 門川小学校運動場周りの生垣が伸び過ぎているが、整備できないか。

町長
 風よけとしての機能を持つ生垣は、運動場の砂ぼこりの飛散を低減させるために有用と考える。

教育課長
 運動場の整備は行ったが、砂ぼこりはある程度あり、無くなっていることはない。

町長
 生垣が伸び過ぎていることについては、

教育課長
 学校敷地と道路との境界線で12月までに切ることにしている。高さについては今後考えていく。

町長
 生垣を金属製のフェンスにしてはどうかとの声があるが、

教育課長
 学校と地域と対話しながら整備していきたい。

町長
 園児の上、運動場は見通しが良い方がいいのではないかと。

教育課長
 生垣について、情操教育上大事であり、学校づくりと地域づくりを一体として考えていきたい。



▲門小運動場東側生垣

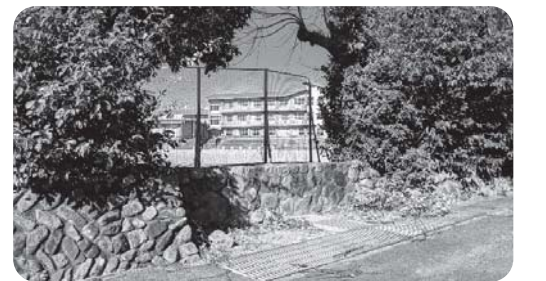
町長
 園運動場の南西側のイチョウが茂り、非常に懸念されるが、南西側の門を含めて整備できないか。

町長
 緊急車両等の出入りに支障がないように枝の剪定を行うなど適正管理に努めていきたい。

町長
 園運動場の南東側に石積みがあり、非常時、住民が門川小学校運動場を通って避難する場合、高齢者や車椅子の人たちは通行できない。非常時のことも考慮して整備できないか。

町長
 石積みの垣根は、運動場から周辺道路へ流れ出る雨水対策として、設置した。運動場に遊水池の機能を持たせるためである。

教育課長
 今後、地区からの要望があれば考えていく。



▲門小南東側石積み

町長
 園運動場東側の生垣の隙間は、本格的に整備できないか。

町長
 近隣の方々などが学校の運動場を利用する際に自然にできたと思われる。運動場と周辺道路をつなぐ避難路や通路の整備は、学校や地域による対話を通して進めていきたい。

町長
 園台風や大雨時に、運動場南側の道路は冠水し易く、付近の民家に浸水の恐れがある。学校敷地の雨水だけでな

町長
 く、国道10号からの水も流れ込む。この道路の排水能力を高められないか。

町長
 当地区一帯が中須雨水ポンプ場の排水区域となっている。排水能力は十分に満たされていると考えている。しかし、集中豪雨の大雨になると一時的に冠水することもある中で、排水路の現況を踏まえながら必要な改善は検討していく。

建設課長
 平成16年の台風で床上浸水44戸、床下浸水72戸あったが、中須に雨水ポンプ場を整備して以来、被害は確認されていない。

地域の力

『小松高齢者クラブ』

代表は、黒木誠一さんです。

竹藪だった所が開けて、石塔群が出てきたことから活動が始まりました。会員数は、現在18人、平均年齢は80歳です。

天然記念物のウスギモクセイ、石塔群(通称：五輪塔)の周辺の清掃(年4回)や農道沿いの彼岸花、国道沿いの紫陽花の管理を行っています。

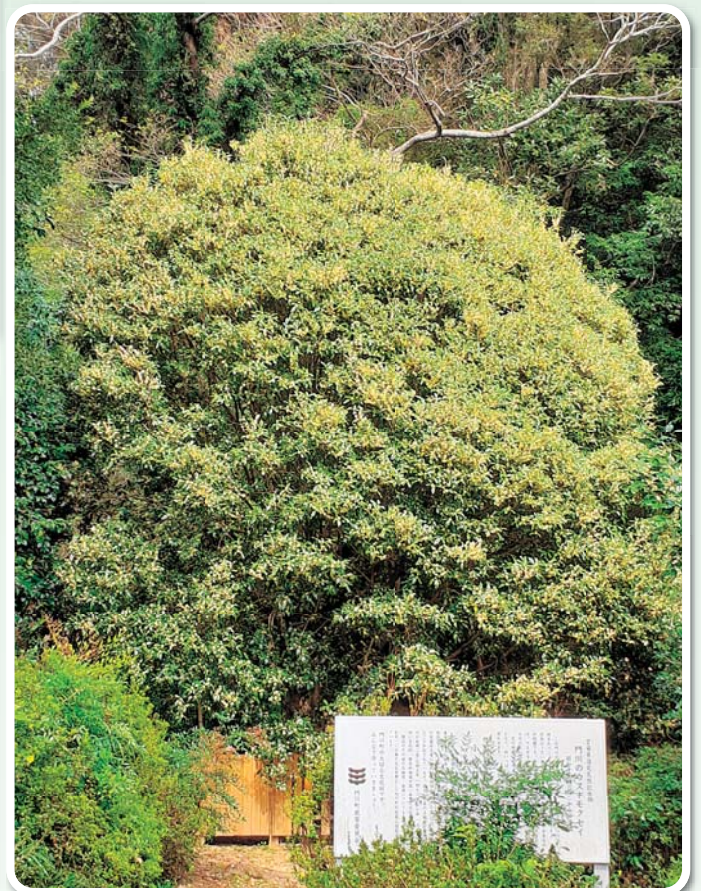
文化財を後世に残していきたいと、みんなで仲良く元気に取り組んでいます。100歳体操にも取り組んでいます。

「門川のウスギモクセイ」

昭和17年6月23日県指定

町指定史跡「小松石塔群」

平成23年7月26日指定



編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年はコロナ禍による様々な行事の中止や延期を余儀なくされ、また皆様との交流の場が制約され大変な一年でありました。幸い12月定例会においては、コロナも落ち着き平常に近い状態で開催できました。皆様から出されました陳情書や要望書に対し、各委員会において真摯にかつ慎重に議論を重ね、報告の運びとなりました。本年は「寅」年であります。「寅千里を走る」の格言にあるように、さらに動く議会を心掛けていきたいと考えております。

(記 岩佐)

■発行者／門川町議会議長 神崎千香子

■編集／議会広報編集特別委員会

〒889-0625 宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号 TEL:(0982)63-1140

■議会広報編集特別委員会／委員長 岩佐祐一 副委員長 広瀬拓也 (令和3年12月27日まで)

委員 森 誠一 森川春夫 山岡節夫

■印刷／ヤマシタ印刷